

「たくさんの人と話す事が大切」

那賀中学校 1年 小倉 独楽太郎

ぼくは最近、人と話すと、何かいやだな、何か変だなと思う事が増えている。この前、何か嫌だなと思って、その事を話している人に伝えたら大げんかになってしまった。そのせいで話していた人と今はあまり話さなくなった。ぼくはこんな悲しい事を二度とくり返したくなかった。そのためにはどうすれば良いかを考えてみたがだれとも全く関わらないという無茶苦茶な事しか思いつかなかった。というかだれとも全く関わらないというのは絶対に無理だ。理由は2つある。

1つ目は人は人と助け合わないと、生きていけないからである。例えば食べ物なんかは食べ物を作ってくれる人がいるから食べることができる。家もつくる人達が協力するからできる。このように一人ではなににもできないからである。

2つ目は人と関わらなければ楽しくないからである。人と関わる事によって、一緒に喜んだり、悲しんだりできる。でも一人だと気持ちを共感できない。ぼくも実際、3日間親が旅行に行った時があった。その時はとてもさみしかった。なにしろ、一人で家の事をしなければならぬし、どんなにすごい事があっても、自分だけでは喜べなかった。これが毎日続くとしたら、生きていけるか不安なぐらいさみしかった。

このことから、やはりだれとも全く関わらないというのは、不可能である。

ならどうすれば人ともめる事なく、話すことができるかを考えてみた。そうすると、人の気持ちを完ぺきに理解する、もしくは、自分の意見を相手にあわせるの2つが思いついたが、やはり2つとも、不可能であると思った。

まずは「相手の気持ちを完ぺきに理解する」であるが気持ちを完ぺきに理解できる人などいない。というかできたら、その人は説明できないぐらいすごい人だ。

そして次に、「自分の意見を変えて、相手にあわせる」だが、確かに、もめ事は少ないだろうが、必ず、がまんしている方がいつかたえられなくなってもめ事が起きるだろう。

だからこの2つも不可能だ。

ここでぼくは気がつく。まったくもめずに相手と関わることは不可能だ。

そこでできるだけもめごとを減らす方法を考えてみた。そうしたら、たくさん色々な人と話す。というのが思いついた。理由は2つある。

1つ目は、色々な人と話していたら、その人の気持ちがなんとなく分かるからである。この人はこんな事を言ったら悲しむな、けんかになるな、などが分かるからだ。例えばぼく達子どもはしょっちゅうけんかをしているが、あまり大人は

けんかをしていない。なぜならたくさんの人と話したという経験があるからだ。ぼく達子どもは、その経験が少ないからだと思う。

2つ目は、たくさんの人と話すことにより、初対面の人でも相手にいやな思いを両方共せずに話すことができると思うからだ。なぜなら、色々な人と話しているため、なれてきて、「この人は、このことを言ったら傷つくな。」などが、長く付き合ってもなくても分かるようになるからだ。

2つの理由から、できるだけめめごとを減らすにはたくさん色々な人と話すことが必要だと思う。

ぼくは人と話すことでどうすればもめないかを考えた。人と話す上で一番大切なのはたくさんの人と話し、相手の気持ちを想像する事だと思う。これからはたくさんの人と話し、相手の気持ちを想像できる人になりたいと思った。

